

## 令和2年度 第2回 碧南市図書館協議会 会議録

### 1 日時

令和3年3月11日（水）午前10時～午前11時30分

### 2 場所

碧南市芸術文化ホール 2階 楽屋6、7

### 3 出席者

#### (1) 出席委員

宮本美枝子、浅井久夫、石川和昌、長田康弘、杉浦卓郎、角谷千佳子、山内えりか

#### (2) 欠席委員

小島真由子、杉浦正勝、神谷俊幸

#### (3) 事務局職員

教育長：生田弘幸、教育部長：岡崎康浩、文化創造課長：杉浦宏真、  
市民図書館副館長：関由香、南部分館長：大橋幹広、  
中部分館長：長谷川有里、市民図書館係長：長田和子

### 4 傍聴者

0名

### 5 協議会内容

#### (1) 教育長あいさつ

#### (2) 会長あいさつ

#### (3) 議題

①「碧南市の図書館サービス計画（第二次）」の進捗状況について

②令和3年度事業計画について

③「碧南市子ども読書活動推進計画」第四次について

#### (4) その他

議題1の「碧南市の図書館サービス計画第二次の進捗状況について」ご説明いたします。「碧南市の図書館サービス計画」ですが、平成29年の4月よりスタートし、3年以上が経過いたしました。そこで、大きく4本の柱に沿って、事業名を立てております。1が「豊かな情報源としての図書館」2が「誰もが利用しやすい図書館」となっております。1の「豊かな情報源としての図書館」というところから、説明をいたします。

(1)「資料の収集」についてですが、図書館は0歳からお年寄りまで、本当に様々な年齢の方、様々な職業の方が使われるものですので、それを考慮して資料を購入しています。

まず、碧南市に関する資料ですが、積極的な収集ということで、令和元年度は367件を収集いたしました。先に説明しないといけなかったのですが、令和2年の2月22日から3月2日まで図書館システムの更新のため休館しました。その後、通常開館しましたが、3月7日からコロナの感染症対策で、予約資料のみの貸出となってしまいました。ほぼ1か月間は通常の開館状況と違った形になっています。よって、令和元年度よりも1か月は少ないというふうで数字をみていただきたいです。また、お隣が芸文ホールなので、そちらで演奏された方のCD等を積極的に収集しております。昨年は17点収集しました。それから、多言語や字幕入りの映像資料ということですが、こちらは、外国人の方もみえますし、耳が不自由な方は、DVDなどは、日本語字幕がついていないと楽しむことができないということで、こちらも気をつけて収集しております。多言語は14点、日本語字幕は18点です。それから、雑誌のスポンサー制度というものも、毎年やりたいと思いながら宿題になっております。

(2)過去の資料の保存と廃棄についてですが、蔵書更新率ということと、蔵書新鮮度ということについていつもご報告させ

ていただいておりますが、こちらは、両方とも若干数字が悪くなっております。除籍がたくさんできなかったということで若干減っております。同じように不要になった資料の廃棄というのも減っております。今現在、本館の閉架書庫はほぼ満杯状態になっておりまして、新しい本を購入した分を除籍していくという流れに本当はしていきたいのですが、なかなかできていない状況です。

それから、(3) 利用者インターネットパソコンの維持確保は、変わらず2台で行っております。

次に(4) レファレンスサービスですが、こちらも件数が若干減っております。しかし、ちょうどひと月分開館できていないというところで、ほぼ例年並みかなというふうに考えております。

それから、(5) -①ホームページの活用ですが、こちらは、ホームページへのアクセス数は年々増えておりまして、利用者の皆様が、ホームページを通して予約したりということが、徐々に増えていると感じております。今年度の2月に新しいシステムに移行し、そちらでテーマ別検索ですとか、借りている資料の延長をホームページからできるようにする等の機能も増やしております。

次に(5) -②番ですが、「広報や地域紙等の活用」ということで、まずは、取材の報告で、新聞1件、ピッチFM1件、キャッチ2件の取材を受けました。それから、地域誌で「フリモかわら」17件、たんぼぼニュース2件、こちらは記事提供を行っております。次の(5) -③キャラクターのへきにやごの活用ですが、令和元年度は36回、また、へきにやごブログは11回更新いたしました。

次に2「誰もが利用しやすい図書館」ということで、こちらは、年齢別、年代別にサービスを上げております。子どもやヤングアダルト向けの事業といたしましては、団体貸出を

園や学校などに行っておりまして、こちらは、貸出数は増えております。43,351件だったのが、45,905件となっています。また、調べ学習に役立つ資料の充実も心がけております。団体貸出用の外国語の資料の充実というところでは、こちらそのまま横ばいとなっております。

次は「大人向けのサービス」です。「大人向けのサービス」としましては、一般向けの講座を元年度は4回行いました。それから、時事問題を取り入れた複数の小規模特集コーナーの設置は、平成30年度と比較しまして、年間で23件増加しております。それから、シニア層のサービスですが、昔読んだ本を、もう一度読みたいとか、往年の名作などを読みたいという方も多いので、そういうものを読みやすい版ということで、大きい字の大活字本や、読みやすい文庫本の購入を進めております。文庫本については、昨年度554冊購入いたしました。それから、障害のある方へのサービスは、資料を選定する際に、障害のある方でも使いやすい資料の購入を行っております。先ほども申し上げたとおり、日本語字幕入りのDVDなどを新規で18点購入しました。

「多文化サービス」ですが、昨年度は、小学校で英語教育が始まったのに関連し、英文多読の資料をかなりたくさん購入しまして、198冊一般書で増えております。洋書絵本は24冊増えております。次に、一番下の項目で、外国語で書かれた行政資料の収集なんですけど、こちらは、市役所の各課が出していた冊子などを受け入れていたんですが、紙の資料の提供がなくなったので、図書館での受け入れもなくなりました。なぜ紙の資料の提供がなくなったのかというと、ホームページ上で、翻訳機能が追加されて、そちらで翻訳したものを外国の方が見られるということで、紙での資料提供がなくなりました。

次に「未利用者への働きかけ」ですが、本当になかなか難

しい項目です。しかし、図書館からの情報発信を心がけて地道に行っていきたいと考えておりますので、項目として挙げております。ホームページやSNSを活用して、イベント等のPRを行っていきたいと思っております。その下の段がイベントの参加人数です。8, 215人で昨年と比べると若干減っております。平成30年度と比べても若干減っております。

それから、3「地域の歴史や文化・産業を育み、次世代へとつなぐ図書館」ですが、こちらの方は、地域の企業とのコラボ企画で、夏休みに栄四郎瓦さんへ工場見学にお伺いいたしました。

4「市民とともに進化する図書館」は、こちらは来年度、アンケート調査を行う予定です。また、それをフィードバックして、また新しいサービスなどの構築に活かしていきたいと思っております。それから、ホームページでの「お問い合わせフォーム」というのがありまして、そちらからの問い合わせが11件ありました。以上で報告を終わります。

会 長

はい。ありがとうございました。質問がある方、遠慮なくお願いします。

A 委 員

すみません。ちょっとわからないので一番最初の「郷土資料新規受け入れ」とありますよね。その郷土資料というのは、具体的にはどんなものですか。

事 務 局

広くは、碧南市や愛知県に関わる資料ということなんですが、市役所が出しています碧南の統計ですとか、そういうものもありますし、一般の出版社が出した本などもあります。碧南の歴史がついているものと、少しでも、なるべくその郷土資料に入れますし、市史調査室の資料も、子どもたち

が調べもので調べに来るんですけれども、すごく役に立っています。

A 委 員                      わかりました。

会 長                      そのほか、進捗状況の資料で割愛、凝縮されてると思う。特に後半「市民とともに進化する図書館」の部分をどう割愛されたのか。

事 務 局                      もう少し後に行うというものは、今回ご報告をやめております。ただ、なくなったわけではなく、来年度行います。また、アンケート結果とともに区切りのところではご報告したいというふうに考えております。

会 長                      わかりました。次の項目に行きたいと思います。議題2「令和3年度事業計画」につきまして、お願いします。

事 務 局                      「令和3年度事業計画」につきまして報告させていただきます。まず今年度ですが、三密の回避ということで、人を集めるおはなし会などの事業をすべて控えさせていただいております。ただし、今現在、県や碧南市のコロナの感染者数が少なくなってきたということで、来年度以後は、引き続き感染症拡大防止対策、例えば、手指消毒、定員を絞る、密集を避けるといったこと等で感染防止対策に努めながら、各行事を少しずつ実施していきたいと考えております。まず、本館の年間行事になりますが、最初についております「おはなし会」から、「おひざにだっこのおはなし会」、「絵本の時間」はすべて年間を通した幼児児童を対象とした定例行事となっております。ゴールデンウィークから、夏休み期間にかけて、工作教室や本の展示等を計画しております。このあたりまでは、

時期、内容も決まっておりますが、それ以後につきましては、時期は決めておりますが、内容がまだ未定という行事もあります。今後、内容等を吟味いたしまして、実施したいと考えております。あと、秋からですが、11月16日と年明けの2月5、6日に、友の会の主催行事としまして、音楽と朗読の夕べ、リサイクル本バザー、の2つ行事を予定させていただいております。それから、あと一部、時期が未定になっているものもありますが、「おはなしボランティア養成講座」、「音声訳ボランティア講座」、「図書館サイエンス講座」ということで、いろいろな講座も計画しております。また、年末年始は、図書館にきていただけないかということで、「クリスマス関連イベント」から「福袋」、「新春図書館で開運」等々、季節に応じた行事も予定しております。

続きまして、南部分館の行事になります。南部分館の行事も、本館と同じく、「おはなし会」、「おひざにだっこのおはなし会」、「絵本の時間」を年間通して、定例行事ということで予定しております。南部分館につきましては、2階にアリーナ（体育館）がありますので、そこを利用した「おはなし会」を今年度も予定しております。

次に、中部分館になりますが、中部分館につきましても、「おはなし会」、「おひざにだっこのおはなし会」、「絵本の時間」を、年間通して定例行事ということで計画しております。中部分館につきましても、夏休み、春休み、お子さんの長期休みの時に、本の展示や工作等で、皆さんに楽しんでいただける環境づくりをしたいと考えております。先ほど申し上げましたが、今年度はコロナの感染拡大防止ということで、多くの行事を中止しました。来年度もコロナ感染の状況は、まだ予断を許さない状況が続きますが、いつでも行事を再開できるという体制で、いろいろな諸事業の準備を進めていきたいと思っております。来年度の行事予定につきましては以上になります。

会 長

はい。ありがとうございます。各図書館別でも答えていただけたと思いますので、質問ありますでしょうか。よろしいでしょうか。次に、議題3ですが、「碧南市子ども読書活動推進計画（第四次）」についてよろしくお願ひします。

事 務 局

「碧南市子ども読書活動推進計画（第四次）」について報告させていただきます。報告については、こちらの「碧南市子ども読書活動推進計画（第四次）の概要版」で説明させていただきたいと思ひます。この計画につきましては、平成13年12月に制定された「子ども読書活動の推進に関する法律」に基づき、国、都道府県市町村が子どもの読書環境を整備し、読書活動を推進するための計画です。国、愛知県、碧南市における制定策定状況は、この1の表の通りです。本市では、推進計画の基本方針として「家庭・地域における子どもの読書活動の推進」「学校等における子どもの読書活動の推進」「図書館における子どもの読書活動の推進」と、「推進体制の整備」の4つを上げております。なお、計画の対象と計画の期間は、概要版の4と5の通りでございます。

次に、「計画の概要」について、基本方針に沿って説明させていただきます。まず第2章「家庭・地域における子どもの読書活動の推進」ですが、家庭における計画推進のために、家庭で読書を楽しめる環境づくりや、妊娠期の保護者に情報提供することでより早い月例での読み聞かせの開始を促します。具体的には保護者向け読み聞かせ講座の内容の見直しや、産前産後の図書館活用のPRチラシの配布に取り組んでいきます。次に概要版の裏をご覧ください。「地域における読書活動の推進」としては、児童センター、児童クラブ、公民館、市民病院など、子どもにとって身近にある施設が、子どもたちが気軽に読書を楽しめる場となるよう、資料の充実や、見せ方の工夫を行って

いきます。具体的な取り組みとしては、「表紙見せ」です。図書館に行かれる方は、よくご存知かと思うのですが、本が表紙を向けて展示してあります。そういった「表紙見せ」を使った配架の工夫、また、市民図書館の団体貸出用の資料の活用などを上げております。

次に第3章「学校等における子ども読書活動の推進について」ですが、学校においては、学校図書室を計画的に活用し、子どもの主体的な読書活動を応援できるような体制づくりに努めます。具体的な取り組みとしては、市民図書館と連携した特別な支援を必要とする子どもへの読書支援、学習指導要領に則った資料の充実、図書館と司書教諭、学校司書との連携強化があげられます。

次に第4章「図書館における子ども読書活動の推進について」ですが、図書館では、先ほどサービス計画でも申しあげましたとおり、あらゆる世代の方が利用されます。その中の、子どもも、あらゆる年代の子どもが図書館を活用します。そういったあらゆる年代の子どもと、子どもを取り巻く大人たちに、読書の楽しみと喜びを提供することを目的に、活動を推進していきます。また、読書活動の拠点となる学校や園などの関連施設や、ボランティアへの支援を引き続き行って参ります。

具体的な取り組みとしましては、読書記録が残せる読書手帳のPRと配布、ツイッターなどのSNSを活用した情報発信、友達の影響を受けやすいヤングアダルト世代に向けて「同世代が進める本のリスト化」、通常の図書資料を利用することが困難な子どもたちに向けて「障害のある子どもたちが利用できるような資料（布絵本やCD付き図書等）のリスト化」等を行います。また、子どもたちが気軽に職員に声をかけられるような雰囲気づくりとしてフロアワークの強化にも取り組みます。

以上の施策を行うために進捗状況を確認しながら、計画の見直しを行うなど、この計画の総合的かつ継続的な推進を行うた

めの体制を整備していきます。それが推進体制の整備となります。

また、この第四次計画につきましては、第三次計画までの基本的な事柄を継続しながら、ベースに、SNSの活用など、時代に合った計画を推進していきたいと考えております。以上で「子ども読書活動推進計画（第四次）」の報告とさせていただきます。

会 長

もう少し具体的に言ってというようなところ、或いはわかりにくいところがありましたら、ご質問願います。

各学校の小さな、本当に身近な図書室をちょっと覗かせていただいたこともあるのですが、子どもたちが上手に入り込める敷居の低い図書室になっているということを感じたことが多々ありますので、その連携がすごく大事だなというふうに思います。それから、読書の時間というのも、きちんと各学校がそれぞれ、朝読、朝の読書というのか、その活動もつなげていただいているので、それも大事なことかなと思っています。子どもたちというのは、やっぱり、図書館へ行って自分の好きな本を読むなり、何かすることによって、心が開けることが多々ありますので、ぜひそういう対応、或いは学校の方にも指導していただけるとありがたいです。

B委員、どうですか。感想でもなんでもお願いします。

B 委 員

先日、中学校の卒業式に保護者として参加させていただきました。その際、在校生だったり、卒業生の本音の気持ち、本当にこの数年でやれなかったこと、やりたかったこと、本当の気持ちっていうのを聞かせていただいた時に、そういう子どもたちが前を向いて歩けるような夢を持てるような環境づくりというのが、今、必要なのかなっていうところを感じていまして、例えば食育みたいな感じで、食べられな

かったものが、自分で料理をすることで食べられるというような、自分で本を作ってみるなどをした時に、作家っていう仕事があるんだとか、本を作るためにはどういう本を読んだらいいのかなというような、何か夢が見つけれられるような環境づくりというのも、この図書館のあり方かなと思いますので、先ほど、会長がおっしゃったように、何かこう夢を忘れないで、キラキラした笑顔が持てるような環境づくりをしていければいいなと思います。ありがとうございました。

会 長

ありがとうございました。図書館友の会会長のC委員、図書館関係のことで、大人のグループとして図書館に協力、或いは行事などをしていただいてありがたいなというふうに思いますが、その辺りと関わっていかがでしょうか。

C 委 員

はい。図書館友の会ということで、ご指名かもわかりませんが、コロナで昨年は全部中止になりまして、例会という月1回の会合も、4回中止になっております。この1月、2月もです。3月はする予定です。そのような状況で、令和3年度は、先ほど説明がありましたように進めていく予定になっております。7月の時にも少しお話したと思いますけれども、式典だとかいろんなことはもう全部中止にして、「30周年の記念誌」だけを今作っております。それで、来週にできますので、図書館協議会の先生、皆さん方にも、来週以降、図書館の方から配っていただけるよう、お願いしたいと思います。

それから、今、図書のことです。思いついたことは、うちの孫のことですが、6年生と保育園の孫2人女の子がいますけれど、本当に本を読むということはほとんどなくて、スマホのゲームとかタブレットなどの取りあっこになってしまうぐらいで、どうしても、そちらの方に目がいきます。小さい方はまだ多少、絵本的なものを読んだり、こちらから読み聞かせを

することもありますけれど、お姉ちゃんなんかは、ほとんど本を読んでいるところを見たことがないので、これは親がいけないのか祖父母かはわかりませんが、全国的なことだと思います。また何か良いアイデアがあったら教えていただきたいと思います。

会 長

ありがとうございます。D委員、何かご意見、感想でも結構ですのでお願いします。

D 委 員

わたしは、「かざぐるま」というお話グループに所属しているんですけども、今年度は、図書館の関係のおはなし会等が全てなかったと先の報告にもありましたが、他に、棚尾児童センターというところでも活動しておりまして、0歳～3歳ぐらいまでの子が来るんですが、そちらでは、検温とか、消毒、その他、住所、氏名を書いてもらって、おはなし会というものを、今もずっと継続してやっております。子どもたちは、本当に行き場所がないんですね。やっぱり、そういう場を作ってあげないと、ストレスもたまるし、やっぱり楽しみにしているのかなっていうのはすごく思います。私たちもマスクをして、顔の表情がわからないまま絵本を読むとか、お話しをするというのは、すごく居心地が悪いんですが、そういう環境の中でも、やれていけたらいいんじゃないかなと思っています。図書館側のおはなし会も、ぜひ、何か形を考えて、継続してやっていただきたいなっていうことを思います。以上です。

会 長

はい。ありがとうございます。その他、感じられたことで言うと、図書館が本当に何か本だけという考え方じゃなくて、館内にBGMがあってもいいかなとちょっと思ったことがあるんですね。静かに静かにというふうに図書館は、どうしても黙ったままという感じで、じっと本を読むというというものもあ

るけど、今の子どもたちって、本当に聞きながら平気で、案外、受験勉強みたいなものでもやれてしまうということもあります。やさしい音楽なんかかかっていると、気持ちよく、図書館も、敷居がまた低くなるのかなって感じもします。新しい分野として、図書館の果たす役割というのは、本当に子どもの居場所等として活用していただけると良いかと思います。

それから、災害的なことで、大地震が来るのではないかと言われていて、災害の時の対応は大丈夫かなと思っています。図書館も公のところですし、そういうところで、もし、子どもたち、大人たちみんなが集まってきたら、対応せざる得ない時もあるんじゃないか思います。それは今後のことかもしれませんが、何か考えがあったら言ってください。

事務局

はい。災害対策ですが、東日本大震災の時に、被害が大きかった図書館が被害報告をまとめております。こんなふうに棚が倒れる、資料が落ちるといった報告や、利用者の方がこんな怪我をしたということ等をまとめています。それを基に、少しずつですけども、災害対応で、例えば本の落下防止テープを棚の上から2段目まで貼るとか、防災訓練も行っております。その時に、危険箇所をチェックしています。

会長

はい。ありがとうございます。では、E委員お願いします。

E委員

今、子どもたちが家に帰るとゲームというような話が出ておりました。私、今、週に3日間ですが、市内の小学校で新しい先生の指導をしています。学校の様子ということで、少しお話させていただけるかなと思いますが、本当に先ほど会長さんのお話もありましたが、朝の読書の時間というのが大体10分から15分くらいどの学校でもやっています。小学校ですと、とても静かで、学校全体が静かになるような状況

で、本当に真剣に読んでいるなあと思います。もちろん自分で持ってきている本もありますが、学校の図書室の本であったり、それから、貸出図書ということで市民図書館から団体貸出の本を借りているので、それを誰もしゃべらずに読んでいるので、すごいなというか、いい状況だなと私は思います。そして、週に1回必ず読書の時間があります。図書室に行って、司書さんから読み聞かせをしていただいて、あとは自分で本を読むという時間もあります。それも静かに、誰もしゃべることなくやっているなので、学校内でも読書の時間というのは充実して、しっかりやれてるなあと思います。帰ってから何をやっているかという、先ほど会長さんやC委員が言われたようにゲームばかりのようですが、家で羽を伸ばしているのかなという感じがしています。ですので、学校としてはとても良い状況で、読書活動が行われていると思います。

また、コロナ禍の一年だったのですが、図書館としては、いろんなイベントができなかったとか、先ほど友の会の会合もできなかったという話もありましたが、図書館自体としては、その影響が何かあったのか、こういった顕著なものがあらわれたとか、逆にステイホームになって何か貸出が多くなったとか、そういったものがあつたら教えていただきたいです。

## 事 務 局

貸出については、昨年度と比べて、今70%、7割くらいという感じです。ただ、4月、5月はほとんど休館ということでしたけれども、全体を通して70%という感じです。それで、やはり、おはなし会などを行ってないので、幼稚園や保育園にまだ行っていない年齢のお子さんの姿が、特に少なくなつたと感じていました。最近は戻っているんですが2階の子どもフロアは寂しいなという感じでした。コロナ対策としまして、ウォータークーラーの使用をやめて、蓋つきのペットボトルを自席で飲んでいいよというふうにしたりと、あと、

席を間引いて、勉強する方たちに、「3時間以内で、離れて勉強してね」という方法で、席の利用を申込制にしたのですが、そちらの利用は、やはり思った以上に多かったです。しかし、今まで荷物だけ置きっぱなしでどこかへ行ってしまいう子もいたんですけど、申込制にしたら皆さんも3時間しかないという事で、すごく集中して、どこかへ行ってしまいうこともなく、飲み物も自席で飲めるということで、使いやすそうな感じで使ってみえます。あと、本当に完全休館した時期には、「司書のおすすめ本セット」とか、電話でどういう本がいいか聞き取りをして提供するという事もやっていました。また、インターネットを通してご利用していただくというところにすごく力を入れました。その力を入れたところが、アクセス数が上がったことにはあらわれていると思います。なるべく人と接しないようにと言われていたわけですが、接しなくても、図書館を利用していただける方法を手探りでやってきた状況です。

会 長

ありがとうございました。それでは、F委員、どうぞ。

F 委 員

失礼します。小学校でPTA役員をやっているんですけど、令和3年度から、タブレット等が支給されて利用していくと思うのですが、図書館の活動の推進に少し利用できたらいいのかなって、聞いていて思いました。今、ゲームとか非対面でやる遊びがだんだん主流になってきて、なかなか対面で触れ合ったりする機会が、今、コロナ禍で減少していると思いますけれど、児童の育成とか、乳幼児の育成にとっては対面の方が僕はいいかなと思っていますし、先ほどD委員が言われたように、マスクをしていると、なかなか表情が伝わらないとか、特に乳幼児は、視覚的にいろいろなことを察知していくと思いますので、マスクが取れる時代が来るといいかなと思っています。タブレットが支給されますので、図

書館のホームページをのぞいてもらったりとか、何か相互にやり取りして、授業の中の一環で読書に親しんだり、デジタルがどんどん今から広まってくると思いますので、デジタルを利用するという形で、リアルに本を読むのと同時に、デジタルを通して、図書館の利用の推進に貢献できたらいいのかなというふうに思います。以上です。

会 長

一応議題はこれで終わります。事務局にお渡しします。

事 務 局

今年度に関しては本日で協議会が終了となります。また来年度からも年2回という予定で協議会の方を開催させていただきたいと思いますので、一部の委員の皆様は今年度までという方もいらっしゃると思いますが、その他の委員さんに関しましては、また来年度も引き続き委員の方をお願いしたいと思いますので、来年度もぜひ図書館の方に足を運んでいただきまして、ご意見等いただければと思っております。どうぞよろしく願いいたします。ありがとうございました。これもちまして、第2回図書館協議会を終了させていただきます。

協議会を終了する。